



佐見中だより



「今の校舎のデザインは、どのようにして決まったのか」

校長

(この話題は、卒業式の式辞に入れようか迷った末に、入れないことに決めた内容です。)

佐見中の現在の校舎は平成10年2月22日に竣工式が行われました。今年で、ちょうど20年になります。

それ以前の校舎は、写真として玄関左手の戸棚の中に入れており、誰でも見ることができます。2階建ての木造校舎で、1階部分の下が、半地下になっていて、自転車置き場になっていたそうです。昔の校舎のことを知る方と話す時に、私は、いつも、この写真を思いうかべながら話を聞いています。



さて、今の校舎を作る時に、3階建てでありながら、瓦をふんだんに使った現在のデザインに、どのようにして決定したのでしょうか。私は、昨年の夏頃から、いろいろな方に聞いて回りました。自治協議会の皆さん、当時、役場で建築課にみえた方…。教育委員会に記録が残っていないかも調べてもらったこともありました。

その時点では、どのようにして決まったのか、調べることはできませんでしたので、私なりに予想を立てました。

佐見中学校校歌 作詞 田口 達雄
(昭和26年 制定)

1 白き雲浮く尾城山
せせらぎ清き佐見川や
光に満てる学び舎の
高さ**いらか**を仰ぐなり



校歌の1番の歌詞に、「学び舎の 高さ**いらか**を仰ぐなり」とあります。

どなたが、瓦屋根のデザインを考えられたのか、また、どなたが、「これでいこう!」と最終決定をされたのか分かりませんが、その方々はきっと、佐見中の卒業生の方か、校歌を知ってみえて、卒業生が久しぶりに学校に来た時に、寂しい思いをしないように…と配慮されたのではないかと、という予想です。

その後、佐見地区にお住まいの、40年間、町議会議員をしてみえた方とお会いすることができ、次のことが分かりました。(貴重な情報をありがとうございました。)

陸屋根では雨漏りが心配であること、特に佐見の冬はよく冷えるので、雨水が凍って雨漏りがひどくなることを心配して、最終的に瓦屋根にしたこと、また、当時の町議会では、佐見の子供化を心配し、立派な校舎を作ることに対して議論も起きたこと、などなどです。

建築課に勤めてみえた方に聞くと、現在のような瓦屋根にする方が、一般的な陸屋根にするよりも、ずっとお金がかかるそうです。それよりも、校歌に見合う立派な校舎を選択されたのです。現在、勤務している私たちとしては、今後も大切に使用させていただくようにしますし、いつか、子どもたちにも、この話をし、地域の方々の思いを伝えていきます。

3年生を送る会

2月9日（金）、多くの保護者の方に見守られながら、3年生を送る会が行われました。伝統の継承、1、2年生から感謝の賞状やプレゼントの贈呈、3年生一人ひとりからの後輩へのメッセージ、合唱発表など、2年生5名での企画・運営で思い出に残る会となりました。佐見の伝統を姿で示してきた3年生のあとを1、2年生がしっかり引き継ぎます。



授業・合唱・黙掃の3つの伝統を引き継ぎました。



1、2年から感謝のアルバムを渡しました。



伝統の合唱を1、2年が引き継ぎました。



まゆ花作り

2月20日（火）、今年も2年生が3年生への感謝の気持ちを込めて、まゆ花作りをしました。小野の方に指導していただきながら、まゆ花を使った立派なコースージュを完成させました。



<3月の予定> 最終下校17:15

- 1日（木）交通指導日
⑤⑥卒業式練習
- 2日（金）①全校卒業式練習
- 4日（日）地区小中学生強化卓球大会
- 5日（月）③④卒業式準備
⑤⑥全校卒業式練習
- 6日（火）卒業証書授与式
- 8日（木）公立高校一次選抜
- 9日（金）PTA役員新旧引継会 19:30
- 14日（水）刈-ルリケラ-来校
大掃除週間（23日まで）
- 15日（木）下校指導
- 16日（金）生徒会役員選挙
- 19日（月）生徒会役員認証式
- 21日（水）春分の日
- 23日（金）大掃除 小学校卒業式
- 26日（月）修了式 離任式 机移動
- 27日（火）～春休み
- 4月6日（金）着任式 入学式準備
- 4月9日（月）始業式 入学式

資源回収へのご協力ありがとうございました

2月18日（日）今年度最後の4回目の資源回収が行われました。今年度のご協力ありがとうございました。収益金は生徒たちのために有効に使わせていただきます。来年度もよろしくお願いいたします。